

創政会、令和会 合同行政視察 報告書

令和4年8月25日
作成 令和会 関口孝夫

1. 視察日時 令和4年7月14日雨(木)～16日(土)

2. 視察先 岡山県倉敷市、加賀郡吉備中央町

3. 視察者

創政会 7名(吉田、竹内、松本、新井、小坂(裕)、田中、小林)

令和会 3名(関口、赤坂、中島)

4. 視察目的

常に、「ゴミリサイクル率40%を超える都市である倉敷市」及びスーパーシティ構想について、先駆けて取り組んだ「吉備中央町」を視察し加須市のリサイクル率の更なる向上の糸口及び加須市南口開発の参考とする。

5. 視察先比較

	加須市	倉敷市	吉備中央町
面積 km ²	133.30	355.63	268.78
人口 人	110,731	471,684	10,516
人口密度 人/km ²	831	325	39.1
市の木	サクラ	クスノキ	アカマツ
市の花	コスモス	フジ	ツツジ
市の鳥	——	カワセミ	ブッポウソウ
総農家戸数 戸	3,010	8,785	——
経営耕地面積 ha	5,151	3,373	——
市議会議員数 人	28	43	12

6. 視察

6.1 倉敷市の特徴

倉敷市(くらしきし)は、岡山県の南部に位置する市。

白壁の町並みが残る倉敷美観地区、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋などで知られる。

また、中国地方の中核市では最大の人口を誇り、保健所政令市にも指定されている。

*保健所政令都市：日本の地方公共団体のうち、地域保健法第5条第1項の規定により、保健所を設置できる政令指定都市、中核市、および政令で定める市をいう(広義)。

6.2 倉敷市役所 担当者から『リサイクル率維持の取組状況』の説明を受ける

「ごみの削減リサイクル」7項目の概要説明あり

広報くらしき で啓蒙しています。

リサイクルにご協力ください。

(株)セブン-イレブン・ジャパン と連携したペットボトル回収事業 や特定家電品 (エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機・衣類乾燥機) のリサイクルを推進しています。

生ごみ処理容器等購入費補助金交付制度

生ごみを堆肥(たいひ)にしてガーデニングに!生ごみ処理容器の購入に対して補助を行い、家庭での自家処理を支援しています。

ごみ減量化協力団体報奨金制度

家庭ごみの中から、資源回収を行なうPTA、子ども会、町内会などの営利を目的としない市民団体に対して、回収量1kg当たり6円の報奨金を交付して活動を支援しています。

スーパーなどのリサイクル活動にご協力

スーパーなどの店頭で行なわれているトレイや空き缶、牛乳パック、卵パックなどの回収活動や買い物袋持参運動などに参加や協力を呼びかけています。

倉敷市家庭用品再利用銀行の活用

出前講座の開催

地域や職場などを対象に、ごみの減量とリサイクルに関する講座を出前します。仲間を集めてお気軽にご連絡を! (生涯学習課 426-3845 経由で)

質疑応答：倉敷市に対して

No	質問内容	回答
1	倉敷市民は、自分の行動結果である「リサイクル率」が常に全国で5番目以内であることを認識していて、更なるリサイクルの向上に努めようとする雰囲気はありますか。	さほど意識していません。 なんでも燃やせるゴミとして、焼却施設で、資源化しています。
2	リサイクル率を維持または、向上しようと、自治体は、どんなことを行っていますか。	決められた日の決められたごみが正しく集積されるように啓発を中心におこなっています。
3	新規転入者に対するごみ分別方法の周知方法は、どうやってますか。	転入時に市役所窓口から、「ごみカレンダー」をお渡しして、周知しています。

6.3 吉備中央町の特徴

吉備中央町(きびちゅうおうちょう)は、岡山県中部に位置する町。

加賀郡に属する。「吉備中央」の名は町域が旧国名「吉備の国」の大部分を占める岡山県の「中央」に位置する事に由来している。

決定にあたっては、町民意向調査の結果を参考に、合併協議会委員の無記名投票によって決定した。加賀郡という郡名は旧町名(加茂川と賀陽)の頭文字を取って付けられた。

吉備高原都市について

吉備高原都市とは昭和 48 年に当時の岡山県知事・長野士郎氏が岡山県総合福祉計画の中で打ち出した構想で、岡山県のほぼ中央部に位置する吉備高原の一部に、自然環境、風俗、伝統、文化を生かしながら、保健、福祉、文化、教育などの機能を備えた吉備高原都市を建設した。当初は 3 万人の人口を想定した壮大な計画で、国立吉備青少年自然の家や障害者を雇用する福祉施設、専門的リハビリテーション医療と地域医療を担う吉備高原医療リハビリテーションセンター、吉備高原小学校、岡山県総合教育センターなどができた。

吉備中央町役場にて、担当者からスーパーシティ構想、デマンド型乗合タクシー、町内巡回バスについて説明を受ける

資料

配布資料 1：恵まれた自然の中で展開する ～デジタル田園都市～
～岡山県吉備中央町の取り組み

配布資料 2：地域公共交通施策について
吉備中央町デマンド型乗合タクシー
町内巡回バス(愛称:へそ 8(はち)バス)

質疑応答：吉備中央町に対して

No	質問内容	回答
1	吉備高原都市 スーパーシティ構想に応募した経緯を教えてください。	人の流れをつくり、地域の課題を解決するため、小さな町の手本となって、波及効果を期待して、内閣府の掲げたスーパーシティ構想へ応募し、令和 4 年 4 月 12 日「国家戦略特別区域」に指定されました。
2	吉備中央町デマンド型乗合タクシーは、運用から 10 か月になりますが、町民の評判及び利用状況をお尋ねします。 収支は、いかがでしょうか。 利便性を求める市民の要望は、どうやって吸い上げる予定ですか。	収入 410,150 円 支出 4,631,500 円 差引 ▲4,221,350 円 赤字部分は、過疎対策事業債を充当 通行区域を町内全域に拡大したものの利用が進んでいません。 住民アンケートや各地域での説明会を計画しています。(公民館など 10ヶ所)
3	町営バス「町内巡回バス」運用から 10 か月になりますが、町民の評判は、いかがですか。	令和 3 年 10 月 1 日から町内巡回バス(愛称へそ 8 バス)として実証運行を開始しました。1 日あたりの目標利用人数を 10.0 人と

	<p>バス社内に置かれた、「アンケート」からの声には、どのようなものがありますか。</p> <p>アンケート等から多くの要望があったことなどから、ルートの変更、修正、追加が必要と考えられた場合の変更手順を教えてください。</p>	<p>しましたが、実績値は、8.4人と下回っています。</p> <p>運行ルート、運行時間に関することなど多くの意見をいただいております。</p> <p>地域公共交通会議の承認を得て変更することが手順です。</p>
--	--	---

7. 視察から『これからの加須市』に参考、活用または、応用して検討すべきこと

<p>創政会 会長 吉田健一 所感</p>
<p>スーパーシティ構想「住民がワクワクしながら安心・安全に生活できる未来型シティの創出」というビジョンで町のみではなく医療、教育、物流、地域、移動、防災、データの専門的な分科会を設けて実現しようとしているエネルギーに感銘を受けた。</p> <p>済生会を中心として加須駅南口の開発も、これに倣って、地域的な限定された人達の問題と考えず、民間の知恵を結集してと言っても現状のような小さな単位の組織ではなく、吉備中央長のような推進体制が必要であるということを強く感じた。</p>

<p>令和会 会長 関口孝夫 所感</p>
<p>リサイクルの町、常にリサイクル率上位3位以内の町として認識していた「倉敷市」がどのような手法を使って、住民と共にリサイクル率を上げているのか非常に興味があったが、要因の一つが、近くの「工業コンビナート」によるものと分かって、視察から加須市民の意識の高さを改めて認識させられました。</p> <p>吉備中央町が実証実験を始めた地域公共交通（デマンド型乗合タクシー、町内巡回バス）には、加須市が抱えている課題と共通していた。</p> <p>しかしここから、「公共交通デジタル実装プロジェクト」なる構想を立ち上げ、小型EV車両を活用した交通の網羅性を拡大しAIデマンド交通技術を活用して町内外の交通利便性改善を計画するなど前向きな構想を検討している。加須市の循環バス、シャトルバス及びデマンド型タクシーの先進的な事例となるとも考えられるため、吉備中央町の成果に注目して行きたい。</p>